

届け 世界の果てまでも

令和3年 1月20日

No. 59

文責 校長 飯久保一男

休日のない週は、本通信を火曜と金曜に本通信を配付していますが、今週は、月曜日に、スキー教室があり、私も行ってきましたので、通常の仕事が1日できませんでした。今週はその関係で、水曜日の配付のみにさせていただきます。

楽しさのレベル

林間学校の結団式にも修学旅行の結団式にも私から話をする機会がありました。いくつか話をした中に、どちらの結団式でも「楽しいってどういうことかを考えてほしい」という話をしました。林間学校の楽しさも修学旅行の楽しさも、与えられる楽しさではなく、作り出す楽しさだということを伝えてきました。

コロナ禍においても、楽しいことはたくさんあります。子どもたちにとって、魅力的なことや誘惑されることなどがあふれているのではないのでしょうか。前号でも書きましたように、子どもは大人がそう思わないことであっても、笑いに変える力をもっています。今号は、その楽しさの意味について考えてみます。



スキー教室行ってきました

【ルールがねえと楽しかねえさ】

- ドッジボールで、ボールが当たっても外野に出ない、ラインを無視して投げるなど、ルールを守らない子がいたら…、
- その子は「楽しい（…意味をはき違えている）」のようですが、他の子どもたちはちっとも楽しくはありません。



元気UPタイム「ドッジボール」

私たちが日々暮らしている中には、様々な法律や規則があり、人々がそれを守っているために、生活することができています。また、それを取り締まる警察のような組織もあるので、安心して過ごすことができます。集団で何かをするときには、一緒にやる全員が、ルールに則ってやるから楽しいのです。授業でも、生活でも、遊びでも、ルールや決まりがあります。それに従わない子がいると、その他の多くの子どもの楽しさを奪っていくことにもなってしまいます。

【取り組みの「途中」や「あと」に楽しさがあるさ】

- 授業や学習をして「わかる楽しさ」「知る楽しさ」など
- 練習したり努力したりして「できる楽しさ」など
- 自分を表現する「歌う楽しさ」「描く楽しさ」「動く楽しさ」など
- 練習や努力の途中にある「がんばる楽しさ」「つくる楽しさ」「書く楽しさ」「計算する楽しさ」など
- 練習したり努力したりして最後まで「やり遂げる楽しさ」など



5年生 図工

途中は辛かったり苦しかったりしても、そのあとにやり切った楽しさとかできあがった楽しさなどが待っているとがんばれます。それが感じられないと逃げたくなりますが…。ゲームをしたりマンガを読んだりするなどの楽しさではなく、努力などが必要な楽しさを感じられると、子どもたちが楽しさを求めるレベルがどんどん上がっていくと思います。

【人と関わるともっと違う楽しさがあるさ】

- 仲間と「協力する楽しさ」など
- 友達や下級生が「喜ぶ楽しさ」など

一人でやるよりも仲間とやった方が楽しいなど、人と関わることが楽しいと思えることはまたレベルが違います。一人のほうが楽なときもあるかもしれませんが、人と関わることが煩わしいときもあるのかもしれませんが、一人ではできないことができる楽しさを感じられるのが学校です。

親が、子どもを遊びに連れていきます。普通、親は自分が楽しむことよりも、子どもが楽しむことを優先します。子どもが楽しんでいる様子を見ることは、親にとって楽しいことです。これに似た楽しみ方が、学校では、上級生が味わうことができます。友達や学級・学年、そして異学年の集団で取り組む中には、特別な楽しさがあります。

- ・児童会本部がゲーム集會を開催しました。6年生を始め、上級生が下級生のことを思い、下級生を優先したり、声をかけたりしていました。その姿がとても楽しそうでした。
- ・2年生がおもちゃ大会を開き、1年生を招待して、自分たちがつくったおもちゃで1年生が楽しく遊んでくれたことを喜んでいました。

他の人のことを思い、人を喜ばせ、喜んでくれることが楽しいというのは、自分が楽しむというレベルを超えた、レベルの高い楽しみ方だと思います。

私たち教職員も、子どもたちが楽しく学べるように、楽しい学校生活を送れるように、日夜、努力をしています。「喜んで登校し、満足して下校できる」明日が待たれる学校の創造を、本校の学校教育理念として掲げています。子どもたちが楽しく学ぶ姿、楽しく学校生活を送っている姿を見ることは、教職員にとっては何よりうれしいことです。



児童会本部主催「ゲーム集會」

そりゃ、僕だって勉強や野球の練習は嫌いですよ。
誰だってそうじゃないですか。
つらいし、大抵はつまらないことの繰り返しです。
でも、僕は子どものころから、
目標をもって努力するのが好きなんです。
だってその努力が結果として出るのはいちローじゃないですか。



イチロー

人間が一番うれしいことはなんだろう？
長い間、ぼくは考えてきた。
そして結局、人が一番うれしいのは、
人をよろこばせることだということがわかった。
実に単純なことだ。
人は人をよろこばせることが一番うれしい。



やなせたかし（「アンパンマン」作者）